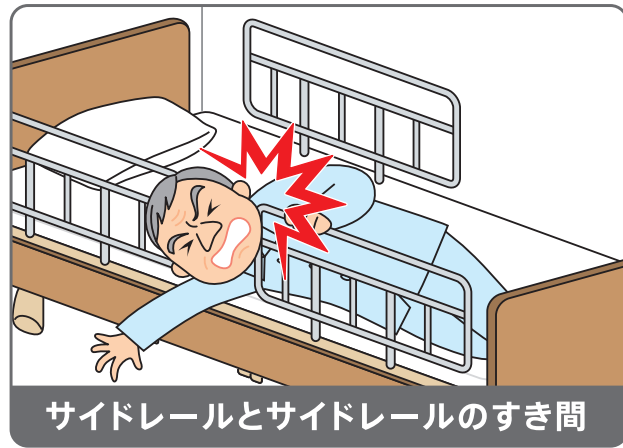


あなたの注意で事故は未然に防げます。チェックリストで確認を!!

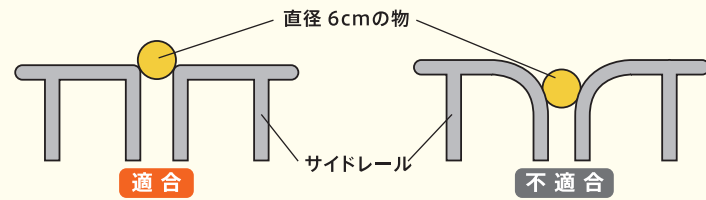
すき間 **チェック①!**

認知機能障害など予測できない行動をとる方や片マヒなどの障がいがある方は、特にサイドレールのすき間などに注意して下さい。

すき間に首が入り込む事故が多発しています。



介護ベッドのJIS規格では、図のようにサイドレールとサイドレールのすき間に直径6cmの硬い円柱状の器具が入らないこととされています。



確認してみよう 安全確認スケールを当てて、直径6cmの物が入りそうなすき間がないか確認しましょう。

すき間があるときの解決策

- ヘッドボードとサイドレールのすき間をクッションなどを入れてうめましょう。
- スペーサーなどによりサイドレールとサイドレールの間にはさまらないようにしましょう。
※メーカーにより対応が異なります。詳しくはメーカーにご確認下さい
- 危険なすき間がないサイドレールに交換しましょう。



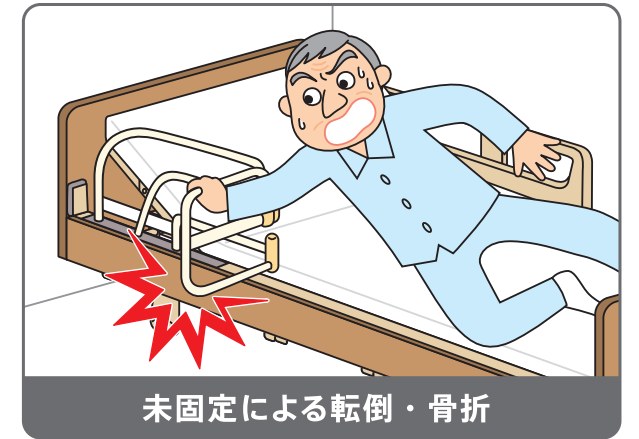
安全確認スケール すき間確認にご利用ください。



固定 **チェック②!**

ベッド用グリップの固定を確認していますか?

しっかり固定していないと……
立ち上がる時に転倒し骨折する原因になります。



実際にやってみよう!

首振り機構の固定、ベッドへの固定は
確実ですか?

12cm以上のすき間があると……
サイドレールの中に頭が入り、窒息事故が発生しています。



確認してみよう

安全確認スケールを当てて、直径12cmの硬い物が入るすき間がないか計測しましょう。

すき間があるときの解決策



をご利用ください。

※メーカーにより対応が異なります。詳しくはメーカーにご確認下さい

その他 **チェック③!**

●取扱説明書をよく読んで
正しく使いましょう。

